

むと疑ふ。すなはち誓願を発し、像を造りて恭敬はむとす。遂に大唐に至りて、すなはち其の像を造りて日夜帰敬ふ。号けて河辺法師といふ。法師の性忍辱人に過ぎ、唐皇に重せらる。日本国の使に従ひて、養老二年に本朝に帰向る。興福寺に住み、其の像を供養して卒ぬるに至るまで息まず。誠に知る、観音の威力の思議すること難きことを。讚に曰はく「老師遠く学びて、難に遭ひて帰らむとす。済渡るに由無く、聖を憶ひて椅に坐る。心に威力に憑りて、化翁来り資く。別れて後に進に駢れ、儀を凶して常に礼みて、其の役轍まず」といふ。

### 亀の命を贖ひ生を放ちて現報を得亀に助けらるる縁

#### 第七

禪師弘濟は、百濟国の人なり。百濟の乱の時に当りて、備後国三谷郡の大領の先祖、百濟を救はむが為に軍旅に遣さるる時に、誓願を發して言さく「もし平に還来らば、諸の神祇の為に伽藍を造立て多諸の寺を起らむ」とまうす。遂に災難を免れ、すなはち禪師を請へて相共に還来り三谷寺を造る。其

の禪師の伽藍と諸の寺とを造立てたる所以なり。道俗觀て、共に為に欽敬ふ。禪師尊き像を造らむが為に、京に上り財を売る。既に金と丹との等き物を買得て、難破の津に還到る。時に海の辺の人なる亀四口を売る。禪師人に勧へて買ひて放たしむ。すなはち人の舟を借り、童子二人を將て共に乗りて海を渡る。日晩れ夜深けて舟人欲を起し、備前の骨嶋の辺に行到りて、童子等を取りて海の中に擲入る。然うして後に禪師に告げて云はく「速に海に入るべし」といふ。師教化ふといへども賊なほ許さず。茲に願を發して海の中に入る。水腰に及ぶ時に石を以ちて脚に當つ。其の曉に見れば、亀負へり。其の備中の浦にして、海の辺に其の亀三頭きて去る。是れ放てる亀の恩を報ゆるかとの疑ふ。時に賊等六人、其の寺に金と丹とを売る。檀越まづ量るに価を過ゆ。禪師後に出でて見れば、賊等忙然しくして退進を知らず。禪師憐愍びて刑罰を加へず。仏を造り塔を蔽り、供養し已りぬ。後に海の辺に住みて往き来る人を化ふ。春秋八十有余のとしに卒ぬ。畜生すらなほ恩を忘れず、返りて恩を報ゆ。何にいはむや、人にして恩を忘れむや。

掃依いたします。「一六底本訓釈「鹿(方)可利」。三みずからの作つた罪過を懺悔すること。本説話は日本の文殊傳説の起源説話といふべきか。三見ると同時に、の意。蘇生のイメージは中巻七縁に結びついている。三六〇〇年。三讚嘆の短文。四字句が主。三特にそのみに心を寄せる。底本訓釈「備(加多)波比」。三底本訓釈「存(持)也」。三底本訓釈「天奈加奈波爾刹利奴留已止」。三底本訓釈「誠也、並知也」。三皇極天皇二年(六三三)に山背大兄王を襲つたことをいふ。「一八日」八年は「十八日」十八年の誤り、とするのは致証。「乱」のイメージは下巻七縁の仲麁の乱に結びつく。三元中国山西省に所在。文殊菩薩の居処。三聖武天皇。この尊号は本書特有のもの。続日本紀・天平宝字二年(七五〇)八月九日条には勝宝感神聖武皇帝。本書の尊号は光明子の尊号「天平心真仁正皇太后」との混同、とするのは致証の説。三聖徳太子が聖武天皇に転生し、文殊菩薩が行基に化した、とする。上巻四縁と合わせ読むならば、聖武天皇を聖とし行基を隱身の聖としていることがわかる。

### 第六縁 善業についての現報説話。今昔物語集・十六ノ一、扶桑略記・養老二年(七二〇)条に書承。

二年に即位、六二八年に薨去。下文に養老二年に帰国、とみえるが、推古天皇の末年より數えて養老元年は九十年にあたる。続日本紀に負(渡)遊学、既經(七)代とあるのより推せば、齊明天皇の代(五九六)に高麗に渡つたこととなる。推古天皇の代とするは九十年以上の遊学となりあまりに高齢にすぎることが、本説話の内部に矛盾を生じるわけではない。三高句麗。三六六八年。三原原文急其河辺、椅壞無船。三其は通説に用いられてこそ訓んだが、この「其は於」の意で用いられてもよい。三巴(老翁のイメージは中巻八縁の「不知老人」に結びついている。觀音を念じたところ船が現われて救われた、という説話には、繫觀世音必驗記の竺法純の説話がある。三老翁と舟がたちまちに消えたというイメージは下巻八縁の「既而其像、奄然不現」に結びついている。一耐え忍ぶこと。六波羅蜜のひとつ。三七一八年。三扶桑略記・養老二年条には「安羅其像於興福寺、夙夜供敬、然間其像俄失、不知其所在」云々とある。三掃、掃、資、に押韻をこころみている。三底本訓釈「資(助)也」。三底本訓釈「遺(忽)也」。三底本訓釈「賢(可)礼奴」。三底本訓釈「變(止)也」。

第七縁 善業についての現報説話。今昔物語集十九ノ二十に書承。  
三買(取)る。底本訓釈「贖(阿)可比天」。三未詳。本説話以外に所伝をみならず。三二六六〇年百濟滅亡。三三広島三次市、双三郡あたり。三三郡の長官。「掌(撫)養所部・檢(察)部事」(職員令)。三六六一年。出兵。六六三年。白村